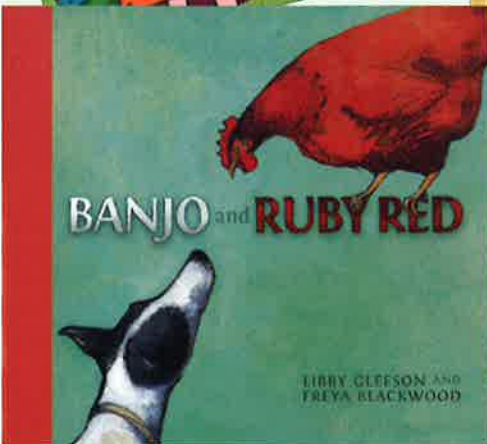


IBBY（国際児童図書評議会）がすすめる世界の児童書

国際アンデルセン賞と IBBY オナーリスト 2016



左上から：『2と1/2の幽霊』（63、スイス）『オリエ』（8、ブラジル）『カエルはどうやって天国に行ったのか』（159、パレスチナ）『3×1家族』（160、ロシア）『いぬのバンジョーとめんどりのルビーレッド』（71、オーストラリア）『わたしが子どもだったころ』（133、クロアチア）『ミミちゃんのねんたオル』（128、カンボジア）

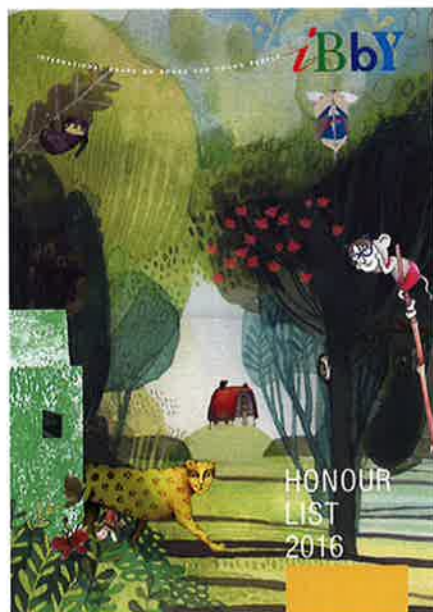
IBBY と JBBY

1953年、ミュンヘン国際児童図書館の創設者でもあるイエラ・レップマンの提唱で、IBBY (International Board on Books for Young People = 国際児童図書評議会) は誕生しました。2017年現在、74の国と地域が加盟し、各国で子どもの本の普及や読書推進活動を行っている非営利組織です。

IBBYの活動のひとつが、隔年で開催するIBBY世界大会において、すぐれた作品を発表した作家と画家に授与される「国際アンデルセン賞」です。また、世界の子どもと本をめぐる情報を発信する機関紙「BOOKBIRD」の発行や、読書普及や識字活動、母語による出版文化を助成する「IBBY山田プログラム」、優れた草の根活動を表彰する「IBBY朝日国際児童図書普及賞」、障害児の読書を支援するための障害児図書資料センターの運営、緊急支援を必要とする子どもたちのための「チルドレン・イン・クライシス」プログラムなど、活動は多岐に渡ります。子どもの本の質の向上と普及を図るための事業を通して、世界中の子どもたちがすぐれた本に出会い、国際理解と平和が達成されることを願っています。

IBBYの日本支部であるJBBY (Japanese Board on Books for Young People = 日本国際児童図書評議会) は、この理念に基づき、「子どもの本を通しての国際理解」を深めることを使命に、活動を続けています。

<http://www.ibby.org/>
<http://www.jbby.org/>



IBBY HONOUR LIST 2016 (英語版カタログ) は、IBBY ウェブサイトからPDFでダウンロードできます。

<http://www.ibby.org/>

IBBY がすすめる世界の児童書 国際アンデルセン賞と IBBY オナーリスト 2016

— 目次 —

1. 国際アンデルセン賞について	4 頁
2. 国際アンデルセン賞歴代受賞者	5 頁
3. 2016年国際アンデルセン賞・作家賞《書文軒》	6 頁
4. 2016年国際アンデルセン賞・画家賞《ロートラウト・ズザンネ・ベルナー》	7 頁
5. IBBY オナーリストについて	8 頁
6. 日本の歴代オナーリスト (1980年以降)	8 頁
7. IBBY オナーリスト 2016 文学作品	10 頁
8. IBBY オナーリスト 2016 イラストレーション作品	28 頁
9. IBBY オナーリスト 2016 翻訳作品	42 頁
10. 索引 (言語索引・主題索引)	56 頁

このブックリストについて

- ・ 国際児童図書評議会 (IBBY) が英文で発行する *IBBY Honour List 2016* の内容を要約、翻訳したものです。
- ・ IBBY の各国支部は、2年に一度、自国の文学作品、イラストレーション作品、翻訳作品の中から、外国に紹介したい優良作品を選び、作家、画家、翻訳者を表彰します。
(複数の言語を用いる国は、文学ならびに翻訳作品の部門に3作品まで推薦できます)
- ・ IBBY オナーリストとは、IBBY 各国支部からの推薦作品をリストアップしたものです。
- ・ 2016年度は、57の国と地域から推薦された48言語173作品を紹介しています。
- ・ 文学68作品 (No 1 ~ 68)、イラストレーション52作品 (No 69 ~ 120)、翻訳53作品 (No 121 ~ 173) の3部門に分類され、作品は、出版国名のABC順に並んでいます。
- ・ 各作品には、対象年齢、主題のほか、出版社、出版年、ページ数、サイズ、ISBNを載せました。
- ・ 書名は、邦訳版がある場合には邦訳書名に合わせました。
- ・ 巻末には、「言語索引」「主題索引」を掲載しました。各作品に記された主題は、ミュンヘン国際児童図書館 (IYL) の協力により作成されたものです。
- ・ *IBBY Honour List 2016* (英語版) には、著者、画家、翻訳者、出版社の住所などが掲載されていますので、必要な方はIBBY ウェブサイト (<http://www.ibby.org/>) を参照されるか、JBBY 事務局までお尋ねください。
- ・ このリストに掲載されている図書は、全国各地で開催されるJBBY主催の「世界の子どもの本展」で巡回展示しています。展示の間には、JBBY 事務局でご覧になることもできます。



● 国際アンデルセン賞について

国際アンデルセン賞（Hans Christian Andersen Awards）は、1953年に、国際児童図書評議会（International Board on Books for Young People：略称IBBY）により創設されました。永らく子どもの本に貢献してきた、現存する作家および画家に授与される子どもの本の国際的な賞です。その選考水準の高さから、「A Little Nobel Prize（小さなノーベル賞）」ともいわれ、世界中の児童文学の質の向上にはかり知れない影響を与えています。受賞者は、IBBY各国支部より推薦された候補者の中から、国際選考委員会によって選ばれます。受賞者には、2年に一度開催されるIBBY世界大会にて、賞状とアンデルセンのプロフィールが刻まれたメダルが贈られます。

国際アンデルセン賞の歴史

◆ 国際児童図書評議会の設立

国際児童図書評議会（IBBY）は、「子どもの本を通じての国際理解」を提唱した故イエラ・レップマン（Jella Lepman）が中心となって、1953年に設立されました。現在は74の国と地域が加盟、本部はスイスのバーゼルにあります。

◆ 賞の設立

1953年のIBBY設立と同時に、国際文学賞が発案、決定され、「国際アンデルセン賞」と名付けられました。3年の準備期間を経て、1956年、ストックホルムで開催された第4回IBBY大会（大会テーマは「国際アンデルセン賞について」）で、初めての授賞式が行われました。第1回の受賞者は、イギリスの児童文学作家エリナー・ファージョンで、受賞作品は『本の小べや』（*The Little Bookroom*, 1955）でした。初めは、作家の業績でなく「作品」に対して賞が与えられましたが、第4回（1962年）からは、賞の対象が「作品」から「作家の全業績」に変わり、第6回（1966年）には、作家賞と並んで画家賞が設立されました。

● 国際アンデルセン賞歴代受賞者

【名誉賞】

1956年 イエラ・レップマン

【作家賞】

1956年 エリナー・ファージョン（イギリス）/受賞作『本の小べや』

1958年 アストリッド・リンドグレーン（スウェーデン）/受賞作『さすらいの孤児ラスムス』

1960年 エーリヒ・ケストナー（旧西ドイツ）/受賞作『わたしが子どもだったころ』

1962年 マインダート・ディヤング（アメリカ）

1964年 ルネ・ギヨ（フランス）

1966年 トーベ・ヤンソン（フィンランド）

1968年 ジェームズ・クリュス（旧西ドイツ）
ホセ・マリア・サンチェスシルバ（スペイン）

1970年 ジャンニ・ロダーリ（イタリア）

1972年 スコット・オデル（アメリカ）

1974年 マリア・グリーベ（スウェーデン）

1976年 セシル・ボトカー（デンマーク）

1978年 ポーラ・フォックス（アメリカ）

1980年 ボフミル・ジーハ（旧チェコスロバキア）

1982年 リジア・ボジュンガ（ヌーネス）（ブラジル）

1984年 クリスティーネ・ネストリンガー（オーストリア）

1986年 パトリシア・ライトソン（オーストラリア）

1988年 アニー・M・G・シュミット（オランダ）

1990年 トールモー・ハウゲン（ノルウェー）

1992年 ヴァージニア・ハミルトン（アメリカ）

1994年 まど・みちお（日本）

1996年 ウーリー・オルレブ（イスラエル）

1998年 キャサリン・パターソン（アメリカ）

2000年 アナ・マリア・マシャド（ブラジル）

2002年 エイダン・チェンバーズ（イギリス）

2004年 マーティン・ワッデル（アイルランド）

2006年 マーガレット・マーヒー（ニュージーランド）

2008年 ユルク・シュビガー（スイス）

2010年 デイヴィッド・アーモンド（イギリス）

2012年 マリア・テレサ・アンドルエット（アルゼンチン）

2014年 上橋 菜穂子（日本）

2016年 曹文軒（中国）

【画家賞】

アロイス・カリジェ（スイス）

イジー・トゥルンカ（旧チェコスロバキア）

モーリス・センダック（アメリカ）

イブ・スパンク・オルセン（デンマーク）

ファルシード・メスガーリ（イラン）

タチャーナ・マーヴリナ（旧ソ連）

スベン・オッター（デンマーク）

赤羽 未吉（日本）

ズビグニェフ・リフリツキ（ポーランド）

安野 光雅（日本）

ロバート・イングベン（オーストラリア）

デュシャン・カーライ（旧チェコスロバキア）

リスベス・ツヴェルガー（オーストリア）

クヴィエタ・パツオウスカー（チェコ）

イェルク・ミュラー（スイス）

クラウス・エンジカート（ドイツ）

トミー・ウンゲラー（フランス）

アンソニー・ブラウン（イギリス）

クエンティン・ブレイク（イギリス）

マックス・ベルジュイス（オランダ）

ヴォルフ・エアルブルッフ（ドイツ）

ロベルト・インノチェンティ（イタリア）

ユッタ・パウアー（ドイツ）

ピーター・シス（チェコ）

ホジェル・メロ（ブラジル）

ロートラウト・ズザンネ・ベルナー（ドイツ）